



オンライン

「光量子コンピューター研究支援基金 感謝の集い」を開催

古澤研では「光量子コンピューター研究支援基金 オンライン感謝の集い」を11月6日に開催しました。昨年秋の実験機見学会はスペースの関係もあり、継続寄付者の方のみを本郷キャンパスにお招きしましたが、今年はオンラインの開催とし、継続寄付以外の方にもご参加いただきました。

まず、サポーターの皆様には古澤明教授のオンライン模擬講義を体験いただきました。先生のお話は学生時代の部活を含む自己紹介に始まり、光量子コンピューターの仕組みなど高度な説明におよびました。

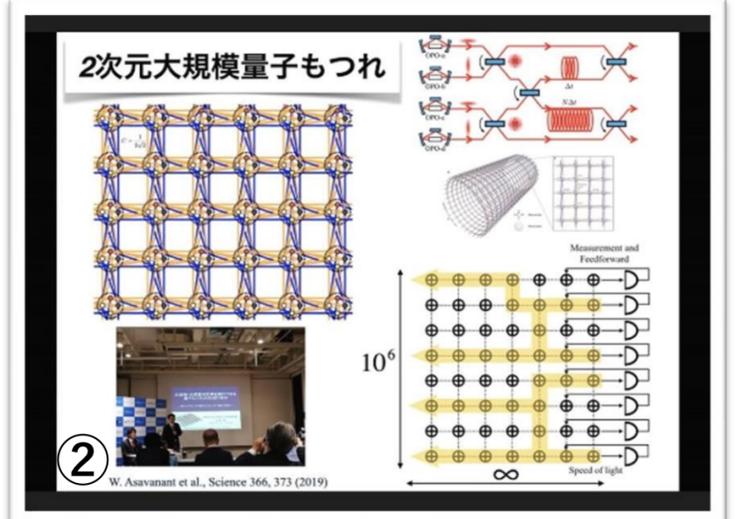
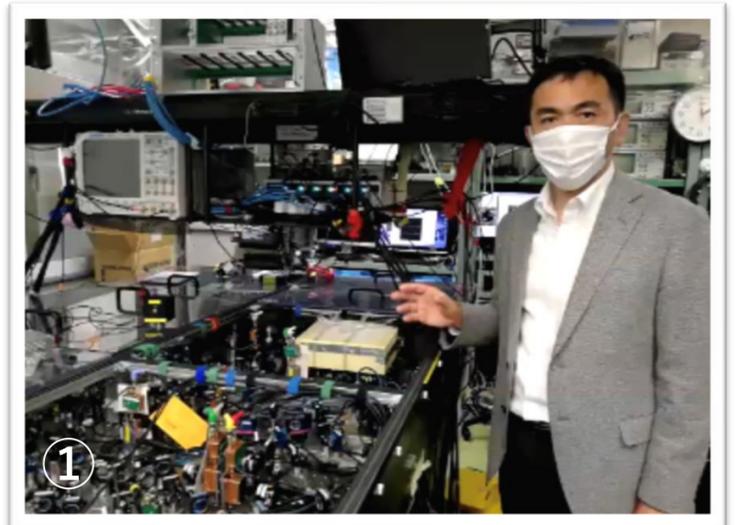
そのあとは、実験機のオンライン見学を行いました。3階にある先生の研究室から1階の実験機まで先生が階段を歩くところをドキュメントフィルム風に映像で追いかけてつつ実験室まで移動し、実験機の前では古澤先生が詳しく説明を行いました。

休憩をはさんで、サポーターの皆様と古澤研から独立した武田准教授、古澤研の皆様とフリートークを行いました。まず、皆様からのご寄付で海外に武者修行に行ってきた修士課程のお二人が、寄付者の方々へ御礼を述べ、海外での経験談をお話しました。

武田先生からは、古澤先生のモットー「バントはするな、ホームランを狙え」についてお話がありました。古澤先生のもとで研鑽を積み、現在ご自分の研究室を構える武田先生は、古澤先生の日々のポジティブな声掛けが研究を続けるうえでモチベーションになったことなどを挙げ、そのような姿勢も受け継いで研究に励んでいるとのことでした。

古澤研の皆様からは、古澤先生が自由に研究をさせてくれることが着実に成果につながっているというエピソードや、昨年の実験機見学会からの1年間で新たに得られた成果についての説明がありました。参加者の皆様から積極的に質問が寄せられ、活発なフリートークが進んでいきました。

最後に、全員で記念スクリーンショットを撮り、閉会となりました。ご参加くださったサポーターの皆様に感謝申し上げます。



- ①実験機の前で説明する古澤教授
- ②古澤教授によるオンライン模擬講義
- ③ご参加いただいた古澤研の皆様
 右手前：遠藤助教
 左手前：アサバナント助教
 左奥：山嶋さん（修士2年）
 右奥：中村さん（修士2年）
- ④最後に参加者全員で集合スクリーンショットを撮影

引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。次回の報告会でもサポーターの皆様とお目にかかるのを楽しみにしています。

